



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.5

「お子様の嫌いなものは何ですか？」

「キライだからキライ」・・・
嫌いになるのに理屈はない

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者の方を対象にしたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集。

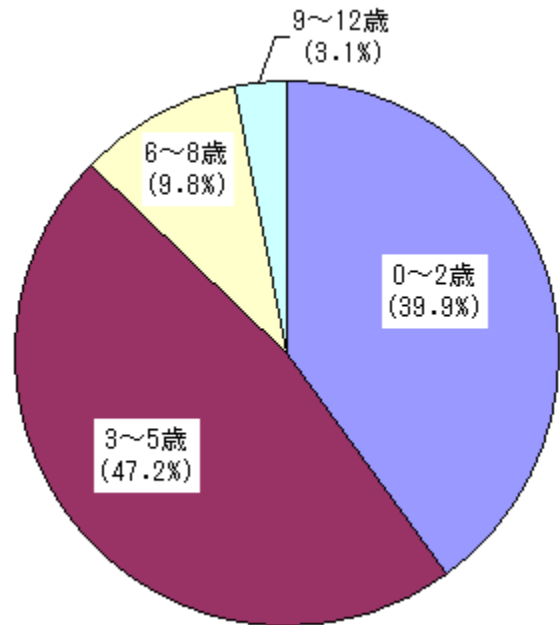
実施時期：1995年8月

質問内容：お子様の嫌いなものは何ですか？

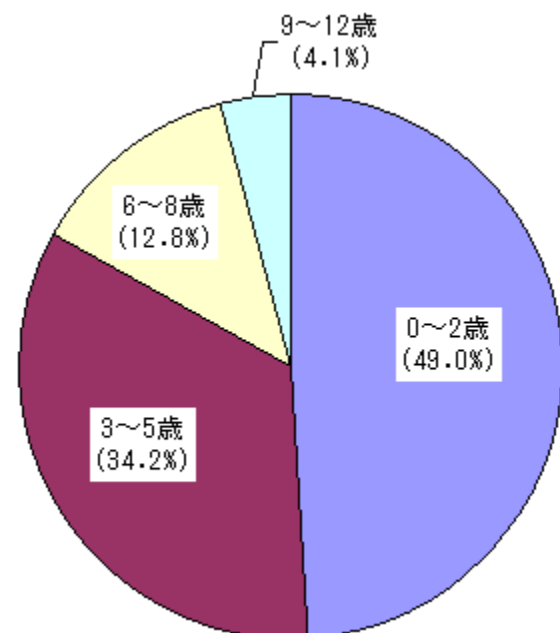
有効回答数：1090件（968人）

男女総計 1090件（968人）

★男 児★		
年齢内訳	0～2歳	241件
	3～5歳	285件
	6～8歳	59件
	9～12歳	19件
	<hr/>	
	計	604件 (516人)



★女 児★		
年齢内訳	0～2歳	238件
	3～5歳	166件
	6～8歳	62件
	9～12歳	20件
	<hr/>	
	計	486件 (452人)



男女別・嫌いなもの 項目ベストテン

男児（回答総数 604 件/516 人）

1. 虫	103	(17.1%)
2. 野菜	94	(15.6%)
3. おばけ	45	(7.5%)
4. 暗い所	28	(4.6%)
5. 雷	23	(3.8%)
6. 果物	18	(3.0%)
7. シャンプー	15	(2.5%)
8. 犬	13	(2.2%)
9. 花火	12	(2.0%)
10. 大きな音	10	(1.7%)

女兒（回答総数 486 件/452 人）

1. 虫	84	(17.3%)
2. 野菜	69	(14.2%)
3. おばけ	29	(6.0%)
4. 雷	19	(3.9%)
4. ぬいぐるみ・人形	19	(3.9%)
6. シャンプー	17	(3.5%)
7. 犬	10	(2.1%)
8. 勉強	9	(1.9%)
9. 大きな音	8	(1.6%)
9. 暗い所	8	(1.6%)

アンケート結果より

＜こどもの苦手はクモ・ピーマン・おばけ＞

男女ともベスト3は「虫」「野菜」「おばけ」で、3つあわせると男女ともほぼ40%と高い割合となっている。日常接する実在のものと、本やお話に登場する架空のものが同じレベルで判断されるのが、いかにもこどもらしい。「虫」のなかで特に不人気なのはクモとゴキブリで、これはやはり見た目の気持ち悪さと突然現れる不気味さからきているようだ。「野菜」はやはりピーマンが苦手ということが圧倒的、次点はにんじんとトマトだった。それでもこの3種は、日常のおかずのなかに登場する機会が多いということか。

＜こどもの“キライ”は本能で判断＞

全体的にこどもの嫌いなものは、嫌な経験をしたからというものよりも、“怖いからキライ”“マズイからキライ”というように、何故怖いのか・マズイのかと理論では割り切れないものが多い。上位にランキングされた「嫌いなもの」を見ても、見る・聞く・食べるなど体で感じるものがほとんどで、こどもの好き嫌いは本能で判断するものと思われる。

＜キライなものはこどもでも男女差がある＞

男児と女児を較べてみると、男児で総合4位の「暗い所」は女児では9位と割合が少なくなっている。また女児4位は「ぬいぐるみ・人形」で、リアルな人形、大きな人形、毛の長い人形、顔の不気味な人形という意見が多く得られた。

女児のほうがぬいぐるみや人形を与えられたり、見る機会が多いからだろうが、ぬいぐるみ・人形なら何でもいいという訳ではないようだ。

＜年代別上位ランキング＞

★男児 0～2 歳 (241 件)

1	虫	30	(12.5%)
2	野菜	17	(7.1%)
3	雷	14	(5.8%)
4	果物	12	(5.0%)
5	暗い所	11	(4.6%)

☆女児 0～2 歳 (238 件)

1	虫	36	(15.1%)
2	野菜	14	(5.9%)
	ぬいぐるみ・人形	14	(5.9%)
4	果物	13	(5.5%)
5	暗い所	11	(4.6%)

★男児 3～5 歳 (285 件)

1	虫	61	(21.4%)
2	野菜	59	(20.7%)
3	おばけ	32	(11.2%)
4	犬	11	(3.9%)
	暗い所	11	(3.9%)

☆女児 3～5 歳 (166 件)

1	虫	36	(21.7%)
2	野菜	30	(18.1%)
3	おばけ	14	(8.4%)
4	犬	7	(4.2%)
5	雷	6	(3.6%)
	暗い所	6	(3.6%)

★男児 6～8 歳 (59 件)

1	虫	15	(25.4%)
2	野菜	11	(18.6%)
	おばけ	11	(18.6%)

☆女児 6～8 歳 (62 件)

1	野菜	15	(24.2%)
2	虫	9	(14.5%)
3	勉強	5	(8.1%)

★男児 9～12 歳 (19 件)

1	勉強	6	(31.6%)
2	野菜	3	(15.8%)
3	へび	3	(10.5%)
	暗い所	2	(10.5%)

☆女児 9～12 歳 (20 件)

1	野菜	10	(50.0%)
2	虫	3	(15.0%)
3	勉強	2	(10.0%)

☆「音（雷・大きい音）」や「暗い所」は年齢が上がるにつれてランキングは下がっている。かわりに「勉強」などの現実の項目があがってきている。

★「おばけ」は赤ちゃんを卒業する3歳くらいから挙がってきているが、「音」「暗い所」同様、ある程度の年齢になると下がってきている。

☆男児 0～2 歳で「果物」が4位になっているが、女児はどの年代もほとんど登場しない。生まれつきの嗜好の違いか。

★少数ながらもコンスタントに見られるのは「歯医者」「医者」。お医者さんは子どもにとっては病気を治してくれる人というより、注射をする人・痛いことをする人というイメージが強いのだろう。病院の玄関に入る時点で泣きだす子どももよく見かける。

☆5歳までは顔を水につけること・・・「シャンプー」「お風呂」「プール」がダメということも多かった。顔を洗えない子どももけっこういるようだ。

★男女共通で0～2歳児の少数意見として、「ヒゲのある男性」や「よそのオバサン」などがあり、幼児には“見慣れない人”への恐怖感があるようだ。